

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0055
住 所 神奈川県川崎市幸区南加瀬1丁目8番6号
氏 名 株式会社 中商
代表取締役 中嶋 達夫 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 中商		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町5番15号		
該当する事業者 の要件	☐ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☒ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	R	サービス業（他に分類されないもの）
	中分類	88	廃棄物処理業
主たる事業 の内容	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の中間処理（焼却）		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		295 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☒ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		17,905 t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021年度)	第1年度 (2022年度)	第2年度 (2023年度)	第3年度 ()年度	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 19,062 (調) 19,049	(実) 18,562 (調) 18,617	(実) 18,467 (調) 18,507	(実) (調)	(実) 19,062 (調) 19,049
削減率		(実) 2.6 % (調) 2.3 %	(実) 3.1 % (調) 2.8 %	(実) % (調) %	(実) 0.0 % (調) 0.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量		廃棄物焼却量		原単位等の単位	t-CO2/t
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標とした値
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	1. 417	1. 408	1. 516		1. 417
活動量の値	13, 443	13, 183	12, 180		－
排出量原単位等の削減率		0. 6 %	－7. 0 %	%	0. 0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	温室効果ガス排出量は基準年度と比較して減少した。当社扇町CRセンターで焼却処理する産業廃棄物の搬入量の減少が主な要因となっている。				
第2年度	温室効果ガス排出量は基準年度と比較して減少した。当社扇町CRセンターで焼却処理する産業廃棄物の搬入量の減少が主な要因となっている。				
第3年度					
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)					
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)					

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	①事業活動地球温暖化対策指針にある基本及び目標対策項目を積極的に実施する。 ②LED照明等の照射範囲(照射角度等)を見直す。 ③本社を含めた全事業所にISO14001、またはエコアクション21を認証を取得する(扇町CRセンターのみISO14001認証取得済み)。 ④防爆型照明を防爆型LED灯に更新する。 ⑤軟水ポンプを更新する(ポンプの能力を見直す)。
第1年度	①事業活動地球温暖化対策指針にある基本及び目標対策項目を積極的に実施した。(詳細については、別紙点検表を参照) ②LED照明等の照射範囲(照射角度等)を一部見直した。 ③本社を含めた全事業所にエコアクション21の認証を取得した。
第2年度	①事業活動地球温暖化対策指針にある基本及び目標対策項目を積極的に実施した。(詳細については、別紙点検表を参照) ②省エネを促進する電波時計(スマートクロック)の導入(川崎CRセンター、臨港CRセンター、扇町CRセンター)
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()	×	
その他 ()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第 1 年度	なし
第 2 年度	なし
第 3 年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	1、ISO14001にて管理している教育計画に地球温暖化対策に関する当計画の内容を取り入れ、従業員に対して教育する。 2、建設当初から、熱交換器（空冷）にて熱回収後の熱風は、排ガスの白煙防止に有効利用している。
第 1 年度	1、ISO14001及びエコアクション21にて管理している教育計画に地球温暖化対策に関する当計画の内容を取り入れ、従業員に対して教育する。 2、建設当初から、熱交換器（空冷）にて熱回収後の熱風は、排ガスの白煙防止に有効利用している。
第 2 年度	1、エコアクション21にて管理している教育計画に地球温暖化対策に関する当計画の内容を取り入れ、従業員に対して教育する。 2、建設当初から、熱交換器（空冷）にて熱回収後の熱風は、排ガスの白煙防止に有効利用している。
第 3 年度	

8 事業者における基準年度からの温室効果ガスの種類ごとの排出量の推移（4 号該当者等）

温室効果ガスの種類	温室効果ガスの量（t-CO ₂ ）				目標排出量 （t-CO ₂ ）
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	
①非エネルギー起源CO ₂ （②除く）	18,434	17,999	17,905		18,434
②廃棄物の原燃料使用に伴う 非エネルギー起源 CO ₂					
③CH ₄					
④N ₂ O					
⑤HFC					
⑥PFC					
⑦SF ₆					
⑧NF ₃					